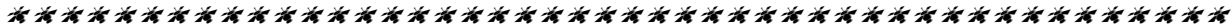




とつか 2020年8月会報 第310号

- 国際会長(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)
- 2020 主 題 “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP” (価値観、エクステンション、リーダーシップ)
- スローガン “TRUST IN THE RIVER OF LIFE” 「命の川を信じよう」
- アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (シンガポール)
- 主 題 “Make A Difference” 「変化をもたらそう」
- ～ スローガン “INSPIRE” 「奮い立たせよう」
- 東日本区理事 (RD) 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)
- 主 題 「変化をたのしもう！」 “Let's enjoy Changes.”
- 副 題 「助け合い、分かち合い」 “Let's help and share each other.”
- 2021 湘南・沖縄部部长(DG) 古田 和彦 (横浜)
- 主 題 「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共に YMCA に仕えよう」
- クラブ会長 若木 一美 ・会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 副会長 浦出 昭吉 書記 加藤 利榮 会計 岡 進



会員ひと言

有田 征彦

◎今月の聖句◎

『北の国から 2020夏?』



STAY HOME の期間中に時間を持て余し、『北の国から』シリーズを観ていました。ご存知の方も多いと思いますが、TVシリーズ全24話、スペシャル版が8編、21年間に及ぶ壮大なシリーズで、これだけ長い期間、同じ男女の俳優が同じ役を演じる作品は他に類を見ないでしょう。

物語は都会暮らしの家族が北海道で電気も水道も無い生活を始めるところから始まる。薪で火をおこし、沢から水を引き、自力で風力発電を作る。そこで暮らす人々との助け合い、支え合いの中でテレビシリーズの最後には丸太の家を建ててしまう。今、改めて観ると、自然やその恵みへの感謝、物の大切さ、暮らしの知恵や生きる力、人と人との本来の関わりなど、今、私たちが暮らす社会が、豊かさや便利さ、経済を優先させ過ぎた中で、忘れてしまっていることの多さに気付かされます。

新型コロナの感染拡大の影響はこれまで経験したことのない、想像もつかなかったもので、強固だと思っていた社会が僅か半年でもろくも崩れていきそうにあります。新しい生活様式という言葉もありますが、もしかしたら、人はどのようにこの地球で生きていくべきなのか？ 次の時代を生きる子供たちのために、私たちは何を遺すのか？ 地域や国というレベルでなく人間社会として考えていく必要があるのではないだろうか。もしも倉本聰が、今、北の国からリメイクするなら、コロナをどのように描くのだろう。自問の日々が続きます…。

あなたがたのうちのだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。

—ルカによる福音書 12章 25節—

「思い悩むな」といわれて悩まなくなる人はまず居ないでしょう。人は、様々な問題に取り囲まれた人生の大半を『思い悩む』ことで過ごさざるを得ない生き物ですから。離れて眺めてみたら、私たちは別の人を見出すことができるかもしれませんよ…。

強調月間 CS・Yサ・パートナーシップ
CS、Community Service の略。

地域社会・隣人奉仕活動を意味する。もっともワイズらしい活動の一つです。区では「CS・Yサ・ASF 資金運用規程」により運用しています。区への献金も有ります。

次に、Yサ、2年前から鎌倉クラブと合同で始めた「ワイズカップ幼児サッカー大会」への支援や毎年開催のチャリティーランへの支援などが挙げられますね…。それと、湘南とつかYMCAの場合は、「e～とつか祭」「ワイズバザー」があります。もう一つ、これは板村理事肝いりの「助け合い、分かち合い」の心が、このパートナーシップの意味を表していると思います。

7月在籍者数	7月出席者数	出席率	ファン 他	B (円)	F (g)	CS・TOP・ A S F (円)	B A P Y (円)	ロ	バ
メ ン	12	メ ン	9	83%					
メネット	8	メネット	3		0	0	0	0	0
		ゲストら	7		0	0	0	0	0
計	20	合 計	19		0	0	0	0	0

★強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う★

☆7月第1例会（総会）から☆

若木 一美

日時：7月4日(土)・19:00-20:30
場所：湘南とつかYMCA ホール
出席者：(ゲスト) 大下利栄子さん
金石万希さん 大高 聡さん
(ビジター) 古田和彦 湘南・沖縄部部长
伊藤誠彦 同 書記
千葉さん・兵藤さん (鎌倉クラブ)

メン：浦出・岡・加藤・柴原・瀬戸・土方・山中・吉原・若木
メネット：加藤・吉原・若木 -以上19名- ~敬称略~

お待たせしました、5か月ぶりの再開です。定刻までには、懐かしいお顔が勢揃いしました。ただ、出席したいけど感染者が増加している東京在住の鈴木ひろ子さんと、厚木の佐藤節子さんは残念ながら出席見合わせとなりました。

定刻19時、浦出前会長の開会点鐘・挨拶、恒例のソングは、中止、信条は司会者が朗読して終了、コロナ対策です！

引き続き、第一番に公式訪問された古田部長から、「…クラブを超えて連携協力しながらYMCA運動を支援しましょう。」と所信表明があり、引き続いて総会に。議長は吉原訓さん、ヤジも無く終了。その中で、新・旧会長のバトンタッチも無事行われ、長年にわたった浦出さんには花束が贈られました。続いて、山中新館長のつづきクラブからの転入会式、これもコロナで握手は無でした。➡

そして、大高前館長から、クラブを離れるに当たってのご挨拶、その中でとつかYMCA開設当時、山中・瀬戸・私の3人とご一緒し、今日また異なる立場で同席できた思い出を語られました。

次は、いよいよ本日のメイン番組、UniLeafの大下利栄子さんによる1年間の活動報告、昨年は‘千冊達成記念会’や各種表彰の受賞と、忙しい日々、この運動が拡大し理解者が増え、視覚に障がいを持つ人への支援の輪が広がること、こうした活動を続けてこられた大下さんの情熱とその思いがこの10年で結実された結果でしょう。そして今、新しい取り組みとして建造物等の造形作りを目指し、前に親子で訪れたポルトガルの‘ヘレンの塔’に触れた時の経験を基にされたと言われます。私たちが出来る支援を考えたいですね。【UniLeafのURL：<http://unileaf.org/6423>】
定刻閉会した後は、三密を避けた‘親密’な懇親会でした。



☆第1回部評議会から☆

若木 一美

日時等：7月25日(土)15時~17時・中央YMCA606号室
出席者：義務者36名中22名出席・うちZOOM3名

第1回部評議会が開催されました。今回は時節柄ZOOMを併用しての開催となりました。第1号議案・前回評議会議事録、第2号議案・前期事業報告はZOOM参加の森田直前部長、第3号議案・前期決算報告はZOOM参加の伊藤直前会計から各説明があり、鈴木監事の監査報告とともに承認されました。

第4号議案・今期事業計画、第5号議案・部大会と新年会について古田部長から説明があり、部大会は複数の区事業と重なるが、ZOOM参加の板村理事から提案どおり進めてくださいとの意見があり、コロナの状況を見極めながら実施する旨を古田部長から補足説明があり承認されました。第6号議案・伊藤会計から説明があり承認、第7号議案は次期・次々期部長選考会の説明があり、10月3日13時から選考会を開催することとし、すべての議事を終了しました。

続いて各種報告があり、峯尾監事の講評で終了しました。ZOOMは通信状況、使用機材の関係などで無言の状況が出るなど、採り入れるには幾つかの課題解決がまだ必要です。また部則や細則に齟齬がある場合には部長まで連絡すること、今年度YMCA事業支援については、各クラブの担当主事とよく連絡し合うことを確認しました。

コロナで懇親会は‘なし’。お互いご挨拶を交わし、皆さま安全・安心を胸に、それぞれ帰途につかれました。

☆第2例会報告☆

若木 一美

7月21日(火)18時30分から、湘南とつかYMCA205号室において、第2例会が開かれ、また、例会に先立ち前年度の会計監査が浦出直前会長立会のもと、岡会計、加藤監事、若木監事により行われました。

几帳面な岡会計から、出納簿・通帳・手元現金の説明が詳細になされ、加藤・若木で確認いたしました。いずれも問題なく適正に記帳・処理され、承認されました。

第2例会には、土方さん・吉原さん、それに瀬戸担当主事が加わり、報告事項としては、①「つながりマスク」の贈呈式を6月23日に湘南とつかYMCAと、7月7日に横浜中央YMCAで行った旨、及びこの事業は継続・実施するので協力可能な方は引き続きお願いしたい。②当クラブの総会例会(7/4)。③横浜クラブに、佐竹博総主事と奥菌一紀担当主事が入会された(7/9)。④湘南とつかYMCAの活動状況報告(瀬戸担当主事)等がありました。協議事項としては、①25日の部評議会に加藤・若木出席。②岡会計から、決算報告、若木監事から監査報告があり、承認されました。③岡会計から年会費を36,000円に戻すこと、特別会計の取扱いに付き意見が出され、次回に検討する。④当面の日程：8月第1例会(8/1)休会、18日(火)第2例会開催、9月第1例会(9/5)・第2例会(9/15)開催、10月は3日の部大会に振替え、20日・第2例会開催 ⑤今年のe~とつか祭は現在検討中(瀬戸担当主事)。 -以上-

【特別寄稿】 「アジア太平洋地域会長の務めを終えて」

2018 - 2020 年度アジア太平洋地域会長/国際議員 田中 博之

(東京多摩みなみ)



去る6月、2年間のアジア太平洋地域会長、国際議員の務めを終えました。いろいろ
と思い出深いことがありましたが、中でも、
昨年7月の仙台での、アジア太平洋地域

大会において、東・西日本区の皆さまのご協力、ホスピタリ
ティーのおかげで、当初の目標を超える811名の参加者の
もと、成功の裡に開催することができたことが挙げられます。
大会開催の目的のひとつであった、大会を契機として日本の
ワイズがより元気になるということも達成できたことを信じて
います。あらためて皆さまのご協力に心から感謝申しあげます。
今年の春からは、新型コロナウイルスによって世界中でワイズ
の活動が大きく制約されました。しかし、このようなとき
にあっても、日本中で、世界中で、それぞれの状況に応じて、
地域社会に対して、生活困窮者支援や感染防止に向けての
取組み等を行っているクラブ、また、ウェブ会議等でコミュ
ニケーション、一体感を維持しているクラブが沢山あること
に大いに勇気づけられました。このようなときこそが私たち
の真価を発揮すべき機会と信じています。

この2年間、アジア太平洋地域そして世界中のワイズと親しく
なることができた中で、世界のワイズ、ワイズ運動の考え方、
活動形態、取組みに様々な違いがあることに気付かされました。
必ずしも世界のワイズが日本のようにYMCAとの良い関係
を持っているとは限らないということも実感しました。一方で、
そのような違いを乗り越えて、私たちをひとつとしているワイ
ズの普遍的な理念、目的そして連帯・友情に改めて感動す
ることもしばしばでした。

今年度は、国際協会ではASF事業主任、アジア太平洋地域
ではIBC事業主任を務めています。この2年間の経験を
活かし、また、私の感動を多くのワイズメンに広めていくこと
ができれば…と思っています。

(田中様、お忙しい中 素敵なご寄稿頂き有り難うございました。)

アンジュ通信 横浜YMCAワークサポートセンターアンジュ 相馬 良文

巷では、相変わらずコロナウィルスが話題になっております
が、現在、職人さんの都合でパン販売はお休みしております。
この期間に、普段できないレクリエーション活動を充実させ
ようと、毎週月曜日のソーシャルスキルトレーニングと舞岡地
区センターを利用した「DVD鑑賞」「カップケーキなどのお菓
子作り体験」教室とYMCA施設の消毒作業を行っています。

レクリエーションで人気のプログラムが、新聞の「文字探し」
というパズルです。視覚情報の認識能力の高い方が多く在籍し
ているので、毎回スタッフも真剣勝負で挑んでいます。成績は、1
勝1敗です。こうした活動を行うこと
により、休みが長期化した方が、仕
事に出てくるきっかけになっていま
す。利用者の方は、毎日12~13人が参
加し、にぎやかに活動しています。

(写真はクッキー作り体験の様子です。)



☆「つながりマスク」の贈呈に☆ 加藤 利榮

7月7日(火)の昼下がり、部エクステンション委員会
(辻委員長)の裏方の私たち一行は、先日の湘南とつか
YMCAに引き続き、今回は、横浜YMCA学院専門学校
日本語学科の学生にマスクを贈呈のため「密」を避け、辻
さん、古賀さん、日下部さんと私の少人数で訪問しました。

贈呈式は、クラスのお昼休みを利用し、奥蘭担当主事を
介し、一人ひとりに直接手渡しました。佐竹総主事、大高
副総主事、平野絹絵秘書、池田直子広報室長、青木一弘日
本語学科長の皆さんも時間を見ては立ち会われ、100枚ほ
どのマスクを贈呈しました。これで、湘南とつかYMCA
の分と合わせ、贈呈総数は265枚となりました。

当面、コロナが終息しそうにもないことから、この運動
を引き続き存続させることを確認し、散会しました。



☆久しぶりに親クラブへ…☆ 加藤 利榮



先だって古田部長
の公式訪問の際、横
浜の例会に誘われて
いたこともあり、7月
9日(木)18:30から
の食事・うたナシの総
会例会に出てきました。

古田さんの公式訪問・挨拶に続き、佐竹博総主事と奥蘭
一紀担当主事の入会式、当方も乞われて立会人に…。古賀
新会長の律儀なまでの入会式辞の読み上げ、そして当方
から「佐竹さん、こちらこそ宜しく…。」のひとつ言があつて
式は終わり。贈られた記念品の中に70年と80年の記念誌が
あり、当方も所望して頂きました。これで手元には40年から
80年に至る5冊の年誌が揃いました。気が付けば、金子さん、
田口努さん、伊藤幾夫さん、日下部さんもZOOMでご参加です。
総会・諸報告も順調に…。20:30までに終了しました。

横浜クラブは本年90周年、日本のクラブでは大阪・神戸
に次いで3番目、したがって東日本区では最長老のクラブ、
記念式・記念誌
は…。まだまだ
今後 煮詰める
べきファクターを
共々胸に閉会、
夕食会へと…。



～一人ひとりの命を大切に…「安全」を考える～

横浜 YMCA では7月1日～7日までを「安全週間」として、改めて安全について学び、それぞれの施設で危険な箇所がないかなどを確認しております。今年度は7月1日(水)に全体研修として、オンラインによる研修が行われました。今までの集合型と異なり、動画配信での開催で、今まで以上に多くの方が参加できたと思います。

また、7月18日(土)には、健康教育事業の研修で、新型コロナウイルス

ウィルスの感染対策について学び、心肺蘇生法も新しい様式で行いました。いまだ、先の見えない状況の中で、私たち YMCA

スタッフは、多くの命を預かる職員として、正しい知識を持ち、安心・安全に職務が遂行できるように努め、神様から与えられた命を守り育てることを伝えていきたいと思ひます。



☆今月の歳時記から☆

‘夕風 ゆうなぎ’ と ‘撫子 なでしこ’

‘夕風’、海辺の地方に起こる現象。昼間は陸地が海上よりも気温が高いため海風が吹くが日没後は陸地の方が早く冷え、ある時間、陸地と海上とがほぼ同じ温度になる。この三、四時間の間、風がまったく止まってしまう。これを夕風と呼んでいる。風がなく暑さ堪えがたい。瀬戸内や長崎の夕風は有名。

夕風や使わねば水流れ過ぐ	耕 衣
夕風や島にとろりと灯のつきぬ	きくほ
夕風やおのが身おのれで濯がねば	民 夫
夕風や白砂掬ふ小さき掌	光 子
夕風の沖に動く灯うごかぬ灯	光 江
夕風に現れ八月の海ほたる	栄 子

次に‘撫子’、秋の七草の一つ。晩夏から咲き始め、高原などでは七月初めが盛りのため、夏の花とされることもある。

山野に自生し、淡紅色の五弁の花が枝の先に咲き続ける。桔梗とともに秋らしい花である。大和撫子、河原撫子ともいう。

酔って寝むなでしこ咲ける石の上	芭 蕉
撫子や堤ともなく草の原	虚 子
なでしこや人をたのまぬ世すごしに	汀 女
植込みの撫子にビル高々と	廣太郎
撫子や竹人形の胴細さ	みどり
撫子の花のちりちりちりと咲く	蕪三郎



☆ 8月・9月のこよみ☆

- >8/1 (土) 第1例会：休 会
- >8/18(火) 第2例会：湘南とつかYMCA 205号室/18:30
- >9/5 (土) 第1例会：湘南とつかYMCA ホール/18:30
- >9/15 (火) 第2例会：湘南とつかYMCA 205号室/18:30
- >10/3 (土) 湘南・沖繩部大会：湘南とつかYMCA ホール
- >10/20 (火) 第2例会：湘南とつかYMCA 205号室/18:30

～Happy Birthday～
(該当者なし)

【掲示板】

会 長

◎ YMCAの各事業委員会もソロリ… (加藤書記より)

コロナの終息を待っている…とばかりにYMCAの事業委員会などが7月に入り開催されました…

- ① 会員事業委員会：7月6日(月)・18:30・関内中央Y委員12名・担当職員3名(含、平野絹絵専属スタッフ) 佐竹総主事が出・列席
ア 協議：会員大会の在り方等について
イ 「会員大会」を「ピース・フォーラム」とする案は、定着しつつある前者の名称が望ましい等の意見が。
- ② BAPY (横浜YMCA子ども支援事業) 基金委員会
ア 前回(3/21・10件)は、オン・ラインで審査
イ 今回：7月14日(金)・18:30・関内中央Y委員8名・担当職員2名(含、山中奈子主管)
ウ 11件につき審査・19年度概要報告
エ BAPY基金の拡充提案について ほか
- ③ 第2回湘南とつかYMCA運営委員会
ア 前回(第1回委員会・5/25)は、オンライン開催、加藤委員長の辞任に伴い、吉原訓委員が委員長に推挙・承認される。
イ 今回：7月27日(月)・18:30・湘南とつかYMCA 1階ホールにおいて開催された。
ウ 佐竹総主事と大高副総主事列席され、それぞれからご挨拶があった。
エ 山中奈子館長と吉原委員長の見事なコラボが、会を盛り上げた。
オ 久方ぶりでの運営委員会を無事終えて…パチリ。



(後記) スティ・ホームが‘つゆ明け’もないままに続きます…。でも、わたしたちには‘Change! 2022’が有ります…。(T/K)